



ファームウェア バージョン :		R6.20.B020
ハードウェアバージョン :	DGS-1210-10	F1
	DGS-1210-10P	
	DGS-1210-10MP	
	DGS-1210-20	
	DGS-1210-28	F1/F2
	DGS-1210-28P	F1
	DGS-1210-28MP	F1/F2
	DGS-1210-52	
発行日 :		2021/12/21

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード時の注意事項 :	2
アップグレード手順 :	2
追加機能 :	11
MIB の変更点 :	11
修正した問題点 :	11
既知の問題 :	11

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R6.20.B020	2021/12/21	DGS-1210-10	F1
		DGS-1210-10P	
		DGS-1210-10MP	
		DGS-1210-20	
		DGS-1210-28	F1/F2
		DGS-1210-28P	F1
		DGS-1210-28MP	F1/F2
		DGS-1210-52	

アップグレード時の注意事項：

R6.10.B010 以降では、シリーズ共通のファームウェアイメージへと統合されたため、R6.10.B010 以降から古いバージョン（6.00.Bxxx）へのファームウェアダウングレードはサポートしておりません。

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

リンクアグリゲーション（LAG）、スパニングツリー（STP）を使用している場合は、ファームウェアアップグレードの操作中、DGS-1210 の動作が不安定になる可能性があるため、ネットワークから切り離して実施してください。

HTTPS 経由でのファームウェアアップグレードには対応していません。

R6.11.B034 以降のバージョンから R6.10.B010 へダウングレードした場合、または R6.11.B034 以降のバージョンで取得したコンフィグを R6.10.B010 のシステムヘリストアした場合、帯域制御の設定は引き継がれません。

アップグレード手順：

ファームウェアアップグレードは、CLI（Telnet 経由）、WebGUI または D-Link Network Assistant から実行することができます。

CLI(Telnet 経由)を使用するアップグレード

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア（例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド）を使ってスイッチに接続します。
Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。
例：telnet 10.90.90.90
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められます。
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。

4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download {firmware_fromTFTP {<ipaddr> <ipv6addr>} <path_filename (64)> image_id <integer 1-2>	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image_id <integer 1-2> boot_up	ブートイメージを変更します。
show boot_file	スイッチの現在のブートイメージ ID 及びブート コンフィグ ID を表示します。
show switch	スイッチの現在のファームウェアバージョン及び ブートコードバージョンを表示します。

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

(1) ファームウェアを本製品にダウンロードします。

※V6.10.B010以降のバージョンをご利用の場合、ファームウェアは現在のブートイメージとは別のイメージに適用されます。

※V6.00.B023をご利用の場合、image_idオプションを使用して適用するブートイメージIDを指定してください。

```
DGS-1210-52> download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 DGS1210_Fx_FW6_20_B020.hex
```

```
Connecting to server..... Done.
```

```
Download firmware..... Done. Do not power off!
```

```
Please wait, programming flash..... 8 %
```

(2) 現在のブートイメージのIDを確認します。

※V6.00.B023をご利用で、現在のブートイメージに上書きした場合は、手順（2）～（5）は実施不要です。ただし、R6.10においてイメージファイルの更新処理に関する変更が行われているため、新しいイメージファイルを現在のブートイメージに上書き適用した場合でも、アップグレード後、手動にて再度スイッチを再起動することを推奨致します。

```
DGS-1210-52> show boot_file
```

```
Bootup Firmware : image_1
```

```
Bootup Configuration : config_1
```

(3) ブートイメージを指定します。

```
DGS-1210-52> config firmware image_id 2 boot_up
```

(4) スイッチを再起動します。

```
DGS-1210-52> reboot
```

```
% Device will reboot, please wait a few minutes to re-login.
```

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (5) 再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

DGS-1210-52> show switch

System name	:
System Contact	:
System Location	:
System up time	: 0 days, 0 hrs, 2 min, 31 secs
System Time	: 01/01/2020 00:02:19
System hardware version	: F1
System firmware version	: 6.20.B020
System boot version	: 1.00.009
System serial number	: QBDGS12105200
MAC Address	: XX-XX-XX-XX-XX-XX

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレス : 10.90.90.90
デフォルトのログインパスワード : admin
3. [Tools] メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。

A screenshot of the 'Firmware Backup and Upgrade' web interface. The interface has a title bar with 'Firmware Backup and Upgrade' and a 'Safeguard' status indicator. There are two main sections: 'HTTP' and 'TFTP'. The 'HTTP' section is selected with a radio button. It contains fields for 'Backup firmware to file' (with a dropdown menu showing 'Image_id 1' and a 'Backup' button) and 'Upgrade firmware from file' (with a text input field, a '参照...' button, and an 'Upgrade' button). The 'TFTP' section is unselected. It contains fields for 'TFTP Server IP Address' (with a text input field and radio buttons for 'IPv4' and 'IPv6'), 'TFTP File Name' (with a text input field), 'Backup firmware to file' (with a dropdown menu showing 'Image_id 1' and a 'Backup' button), and 'Upgrade firmware from file' (with an 'Upgrade' button).

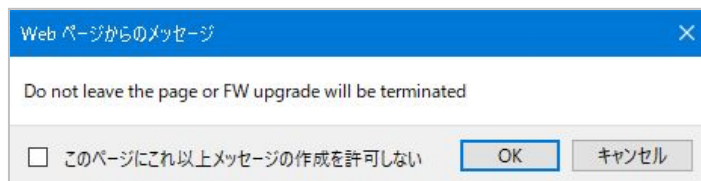
HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) [HTTP]を選択します。
- (2) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。

※V6.10.B010 以降のバージョンをご利用の場合、Image ID の指定はできません。新しいイメージファイルは現在のイメージ ID とは別の ID に適用されます。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



- (4) 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



- (5) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。
そのままお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

- (1) [TFTP] を選択します。
- (2) [TFTP Server IP Address]に TFTP サーバの IP アドレス、[TFTP File Name]にファームウェアのファイル名を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。

※新しいイメージファイルは現在のイメージ ID とは別の ID に適用されます。

- (3) [Upgrade]ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- (4) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

5. 「Firmware Upgrade successfully.」のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。
6. [System]>[Firmware Information]を選択します。※V6.00.B023 をご利用で、現在のブートイメージに上書きした場合は、手順6～9は実施不要です。ただし、R6.10 においてイメージファイルの更新処理に関する変更が行われているため、新しいイメージファイルを現在のブートイメージに上書き適用した場合でも、アップグレード後、手動にて再度スイッチを再起動することを推奨致します。
7. 新しいイメージ ID を指定し、「Apply」をクリックします。ID の横に*マークが付いている方が現在のブートイメージです。

ID	Version	Size (B)	Update Time	From	User
*c1	6.20.B013	11922928	01/01/2020 00:07:08	10.90.90.100	admin (Web)
2	6.20.B020	11927024	01/01/2020 00:46:13	10.90.90.100	admin (Web)

Please select the boot up image of device.

Image_id 2 ▼

Apply

8. [Tools]→[Reboot Device]をクリックします。
9. 以下の画面で「Reboot」ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。

Reboot System

Do you want to save the settings ? ☒ YES ☐ NO

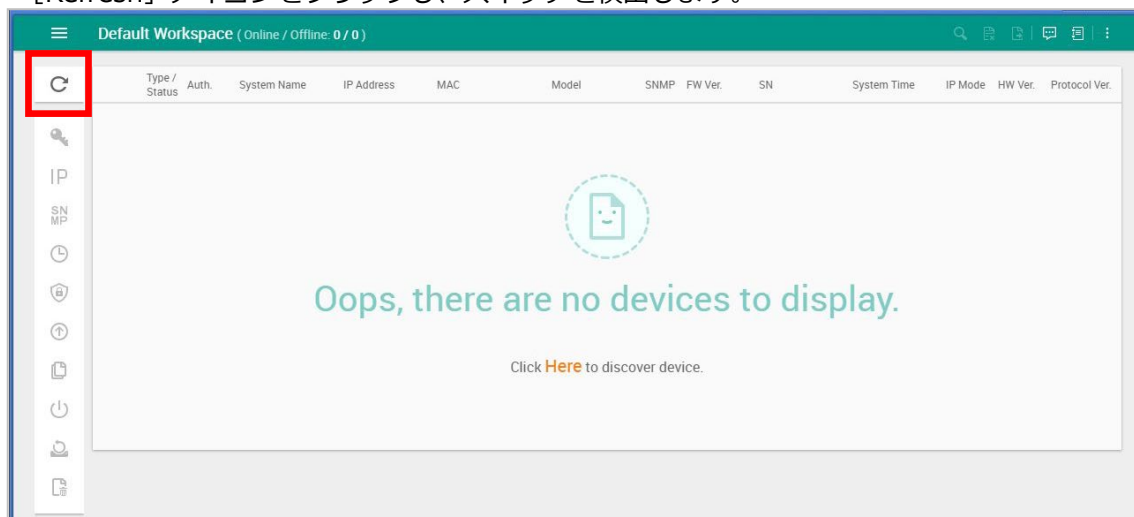
If you do not save the settings, all changes made in this session will be lost.

Reboot

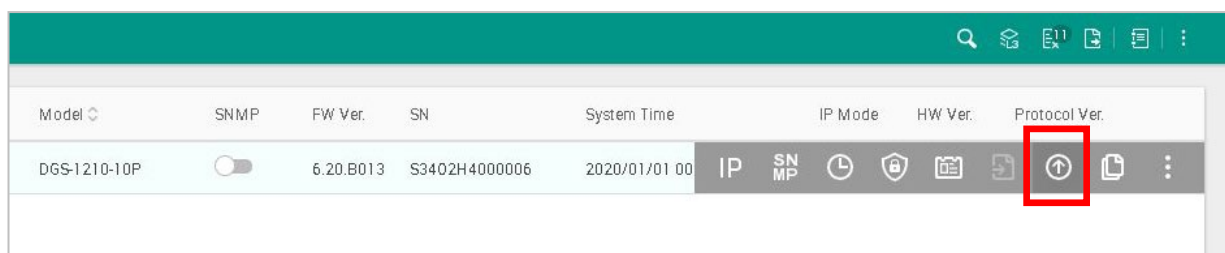
10. 再度ログインし、「Device Information」画面でファームウェアがアップグレードされていることを確認します。

D-Link Network Assistant を使用するアップグレード

1. D-Link Network Assistant を起動します。
2. [Refresh] アイコンをクリックし、スイッチを検出します。



3. アップグレード対象のスイッチにカーソルを合わせ、[Upgrade firmware] アイコンをクリックします。




4. [Browse] をクリックしてファームウェアを選択 → [Upgrade now] をクリックします。

※V6.00.B023 をご利用の場合、DNA を使用してアップグレードを行うと、「Image_id 1」に対してアップグレードが実施されます。現在のブートイメージが「Image_id 2」の場合、ファームウェアのダウンロード後、ブートアップの image_id を手動で指定し、再起動する必要があります。また、R6.10 においてイメージファイルの更新処理に関する変更が行われているため、新しいイメージファイルを現在のブートイメージに上書き適用した場合でも、アップグレード後、手動にて再度スイッチを再起動することを推奨致します。

※V6.10.B010 以降のバージョンをご利用の場合、[Image ID]の設定に関わらず、新しいイメージファイルは現在のイメージ ID とは別の ID に適用されます。

Model	SNMP	FW Ver.	SN	Upgrade firmware (10.90.90.90) X
DGS-1210-10P	<input type="checkbox"/>	6.20.B013	S3402H4000006	<p>Current firmware version</p> <p>6.20.B013</p> <p>Update firmware using a local file</p> <div> <p>Firmware file: DGS1210_Fx_FW6_20_B020.hex</p> </div> <p>Cancel Upgrade now</p>

5. 画面が切り替わり、ファームウェアアップグレードが開始されます。

Default Workspace (Online / Offline: 1 / 0)												
Type / Status	Auth.	System Name	IP Address	MAC	Model	SNMP	FW Ver.	SN	System Time	IP Mode	HW Ver.	Protocol Ver.
			10.90.90.90	80-26-89-4c-81-a5	DGS-1210-10P	<input type="checkbox"/>	6.20.B013	S3402H4000006	2020/01/01 00:00:12	Static	F1	DDP V2.0.26

※アップグレード中は「Type / Status」欄のアイコンが処理中であることを示します。アップグレードが完了すると、画面右下に「Successfully upgraded the device firmware for (10.90.90.90).」というメッセージがポップアップ表示されます。

6. アップグレードが完了するとスイッチが再起動されます。スイッチの再起動後に [Refresh] アイコンをクリックし、デバイス情報の FW バージョンが更新されていることを確認します。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R6.20.B020	特になし

MIB の変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R6.20.B020	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R6.20.B020	<ol style="list-style-type: none"> 1. IP アドレス変更後、WEB のセッションが残ったままとなりサーベイランスモードに移行できない問題を修正致しました。 2. SNMP のコミュニティ名で特殊記号("#") がサポートされない問題を修正致しました。 3. DHCP クライアントが T2 リクエストを送信し、DHCP サーバからの ACK を受け取った際、ゲートウェイ情報が変更されていても、ゲートウェイ情報が更新されない問題を修正致しました。 4. PoE Power Threshold が設定範囲外の値 (7.0W) に意図せず変更される場合がある問題を修正致しました。 5. スマートバインディングにおいて、ブロックされたクライアントがブラックリストに表示されない場合がある問題を修正致しました。 6. 異なるネットワークの DHCP サーバから IP アドレスを取得する際 IP 情報の更新に失敗する場合がある問題を修正致しました。 7. 不正な ICMPv6 Option が設定された Neighbor Solicitation を複製して送信する問題を修正致しました。 8. ログの保存トリガを「Log Trigger」に設定した場合、ログエントリが 500 を超えた際に上書き保存されない問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題点
R6.20.B020	<ol style="list-style-type: none"> 1. Firmware Upgrade において、Internal Flash への書き込み処理による CPU 高負荷のため、STP/RSP/MSTP、および LACP の動作が不安定になる場合がある問題。 2. 複数の IPv4 Interface を設定した際に、DHCP Relay が適切に機能しない問題。(制限事項) 3. RA に関する機能実装がないため、複数の IPv6 Interface を設定した際に、DHCPv6 Relay が適切に機能しない問題。(制限事項) 4. GARP による ARP テーブルの更新に対応していない問題。(制限事項) 5. MAC アドレス学習において最大テーブル数の 1%以上のロスが発生する問題。(制限事項) 6. CPU インタフェースではジャンボフレームがサポートされない問題。(制限事項)

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">7. EEE の有効化/無効化により、インタフェースがリンクアップ/リンクダウンする問題。(制限事項)8. DNA v3.0.2.7 においてアップグレード結果が表示されない問題。(制限事項)9. ローダモードにおいて SFP インタフェースがサポートされない問題。(制限事項)10. スイッチを再起動すると、PoE 接続されている IP カメラが検出されない問題。(制限事項) 再起動完了後に PoE を有効化する必要があります。11. SNMP のウォームスタートトラップがサポートされない問題。12. IPv6 スタティックネイバエントリが作成できない問題。(DGS-1210-52 のみ)13. Storm Control の設定において、Unknown Unicast の設定が含まれる場合、CPU 宛ての Traffic も対象となります。(制限事項)14. Asymmetric VLAN の機能は、複数の IP Interface を作成している状態では有効に出来ません。(制限事項)15. DHCP Relay において指定する Server IP は、DGS-1210 に設定された IP Interface と同一 IP Segment である必要があります。(制限事項) |
|--|---|

Copyright 2006-2021 D-Link Japan K.K.